

令和4年版
観光白書

お問い合わせ先

内容等についてお気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番地2号

観光庁観光戦略課観光統計調査室

電話03-5253-8325（直通）

観光庁ホームページ <https://www.mlit.go.jp/kankocho/>

はじめに

観光白書は1963年(昭和38年)に制定された観光基本法に基づき、翌年1964年(昭和39年)4月に初めて作成された。現在は、2006年(平成18年)に制定された観光立国推進基本法に基づいて作成されており、令和4年版観光白書は、通算で第59号となる。

2021年(令和3年)を振り返ると、2020年(令和2年)1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によりインバウンド需要はほぼ消滅し、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限に伴い国内旅行も大きく減少するなど、観光関連産業に甚大な影響を与えた。そのような中で、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会が一年の延期を経て開催された。

本年の白書では、新型コロナウイルス感染症の拡大により観光関連産業が直面する厳しい状況について、企業経営や雇用に関する統計データを用いて多角的な分析を行った。

また、マイクロツーリズム(近隣地域内での観光)の進展など国内旅行市場で起きた環境変化や、ワーケーション、「第2のふるさとづくり」(何度も地域に通う旅、帰る旅)など新たな交流市場の開拓への取組、ポストコロナに向けて高まる持続可能な観光の重要性について、統計や各種調査、事例を基に分析を行った。

さらに、低い生産性やデジタル化の遅れなど観光産業が抱える構造的な課題を分析し、観光産業や観光地の再生・高付加価値化とデジタル実装など、成長と分配の好循環の実現に向けた施策について報告している。

観光の回復とともに、さらなる地方創生への貢献という観点から、より多くの人に地方を訪れてもらうきっかけを作り、より多くの観光消費をしてもらい、再びその地方を訪れてもらう、という好循環の実現に向け、政府・民間、地域が一体となって取り組むにあたり、本白書の分析がその一助となれば幸いである。

目次

令和3年度 観光の状況

第1部 令和3年 観光の動向

第1章 世界の観光の動向	3
第1節 世界の経済の概況	3
第2節 2020年(令和2年)の世界の観光の状況	3
第3節 2021年(令和3年)の世界の観光の状況	7
第2章 日本の観光の動向	9
第1節 訪日旅行の状況	9
第2節 日本人の海外旅行の状況	15
第3節 国内観光の状況	16
第4節 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会	22
コラム I-1 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会に おけるプロモーション	23
第5節 地域における観光の状況	25
第6節 地域における観光振興の取組	31

第Ⅱ部 新型コロナウイルス感染症に向き合う観光業と これからの課題

第1章 新型コロナウイルス感染症の影響と対応	45
第1節 新型コロナウイルス感染症の影響	45
コラムⅡ-1 旅行者の意識	61
コラムⅡ-2 インターネットを活用した取組事例	63
第2節 新型コロナウイルス感染症への対応	64
第2章 新型コロナウイルス感染症で起きた環境変化や観光業が抱える 構造的な課題	69
第1節 新型コロナウイルス感染症で起きた環境変化	69
コラムⅡ-3 ワークーションを活用した「働き方改革」と「地方創生」 ～ワークーション導入企業の事例～	81
コラムⅡ-4 第2のふるさとづくりの取組・地域に与えた効果	87
コラムⅡ-5 海外の持続可能な観光の取組	103
第2節 成長と分配の好循環の実現に不可欠な地方創生の牽引役である観光地の 再生を支える観光産業の強化	109
コラムⅡ-6 デジタル技術を活用した地域周遊の実証実験の取組	132

第Ⅲ部 令和3年度に講じた施策

第1章 新型コロナウイルス感染症の対応と観光の復活	137
第1節 感染拡大防止の徹底、国内需要の回復、観光産業の再生	137
第2節 魅力ある観光地域とコンテンツ造成	138
第3節 インバウンド等の段階的回復	141
第2章 観光立国の実現に向けた観光施策	142
第1節 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備	142
第2節 地域の新しい観光コンテンツの開発	160
第3節 日本政府観光局と地域（地方公共団体・観光地域づくり法人）の適切な 役割分担と連携強化	182
第4節 観光インフラの整備	196
第5節 更なる観光振興を図るための主要施策	205

令和4年度 観光施策

第IV部 令和4年度に講じようとする施策

第1章 新型コロナウイルス感染症の対応と観光の復活	213
第1節 国内交流の回復・新たな交流市場の開拓	213
第2節 観光産業の変革	214
第3節 交流拡大により豊かさを実感できる地域の実現	214
第4節 国際交流の回復・質的な変革	214
第2章 観光立国の実現に向けた観光施策	216
第1節 ポストコロナに向けた環境整備	216
第2節 地域の観光コンテンツの造成・磨き上げ	234
第3節 地域支援と戦略的訪日プロモーション	253
第4節 観光インフラの整備	263
第5節 更なる観光振興を図るための主要施策	272

資料編

資料 1	地域別の外国人旅行者受入数及び国際観光収入	279
資料 2	国際観光収支の状況(2020年(令和2年))	279
資料 3	日本の国際観光収支の推移	280
資料 4	訪日外国人旅行者数の国籍・地域別推移	281
資料 5	訪日外国人旅行者数の月別推移(2021年(令和3年))	282
資料 6	訪日外国人旅行者数の目的別推移	283
資料 7	入国外国人の旅客輸送の状況	284
資料 8	出国外国人の日本での滞在期間(短期滞在)	284
資料 9	日本人海外旅行者の国・地域別訪問者数の推移(受入国(地域)統計)	285
資料 10	日本人海外旅行者の性別・年齢階層別推移	287
資料 11	出国日本人の旅客輸送の状況	288
資料 12	日本人海外旅行者の滞在期間	288
資料 13	日本人延べ宿泊者数の月別推移(2021年(令和3年))	289
資料 14	外国人延べ宿泊者数の月別推移(2021年(令和3年))	289
資料 15	県内・県外(除く外国人)・外国人延べ宿泊者数構成比(2021年(令和3年))	290
資料 16	都道府県別の延べ宿泊者数・外国人延べ宿泊者数・宿泊施設の客室稼働率、 定員稼働率(2021年(令和3年))	291
資料 17	都道府県別・宿泊施設タイプ別客室稼働率(2021年(令和3年))	292
資料 18	都道府県別、国籍・地域別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5か国・地域) (2021年(令和3年))	293
資料 19	国籍・地域別、都道府県別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5都道府県) (2021年(令和3年))	294
資料 20	日本人旅行者の1人1回当たり旅行消費額の推移	295
資料 21	国際基準による国内の旅行消費額の内訳(2020年(令和2年))	295
資料 22	国際基準による旅行消費額の推計(2020年(令和2年))	296
資料 23	日本国内における旅行消費額の経済波及効果(2020年(令和2年))	296
資料 24	旅行消費が日本国内にもたらす経済波及効果(2020年(令和2年))	297
資料 25	旅行消費が日本国内にもたらす産業別経済波及効果(2020年(令和2年))	297
資料 26	観光庁関係予算(2022年度(令和4年度))	298
資料 27	観光庁関係予算の推移	299

(注意) 本報告書に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。

目次

目次

図表 I-1	主要国・地域の実質経済成長率の推移	3
図表 I-2	外国人旅行者受入数ランキング(2020年(令和2年))	4
図表 I-3	国際観光収入ランキング(2020年(令和2年))	5
図表 I-4	国際観光支出ランキング(2020年(令和2年))	6
図表 I-5	国際観光客数の推移	7
図表 I-6	国際観光客数と世界の実質 GDP の推移	7
図表 I-7	地域別国際観光客数(2021年(令和3年))	8
図表 I-8	訪日外国人旅行者数の推移	9
図表 I-9	訪日外国人旅行者の内訳(2021年(令和3年))	10
図表 I-10	地域別の訪日外国人旅行者数とシェアの推移	11
図表 I-11	訪日外国人旅行者による消費額の推移	11
図表 I-12	国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比	12
図表 I-13	費目別にみる訪日外国人旅行消費額	12
図表 I-14	世界の国際会議の開催状況の推移	13
図表 I-15	世界の国際会議の開催状況(月別)(2021年(令和3年))	13
図表 I-16	地域別の国際会議の開催状況(2021年(令和3年))	14
図表 I-17	アジア大洋州地域における国際会議の件数(2021年(令和3年))	14
図表 I-18	出国日本人数の推移	15
図表 I-19	旅行収支、訪日外国人旅行者数と日本人出国者数の推移	15
図表 I-20	日本人1人当たりの宿泊旅行、日帰り旅行の回数及び宿泊数の推移	16
図表 I-21	日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移	16
図表 I-22	日本人国内旅行消費額の推移	17
図表 I-23	日本国内における旅行消費額	17
図表 I-24	日本人・外国人の延べ宿泊者数の推移	18
図表 I-25	客室稼働率の推移	18
図表 I-26	宿泊施設タイプ別の客室稼働率の推移	19
図表 I-27	宿泊施設タイプ別延べ宿泊者数(日本人・外国人別寄与度)	19
図表 I-28	三大都市圏及び地方部の日本人延べ宿泊者数の推移	20
図表 I-29	三大都市圏及び地方部の外国人延べ宿泊者数の推移	20
図表 I-30	宿泊施設タイプ別の外国人延べ宿泊者数の割合の推移	21
図表 I-31	「東京2020大会」関係者の日別入国者数の推移	22
図表 I-32	「東京2020大会」関係者の日別出国者数の推移	22
3.1 図表 I-1-1	オンライン動画広告視聴者の訪日意向	23
3.1 図表 I-1-2	「東京2020大会」視聴の日本に対する興味への影響	24
3.1 図表 I-1-3	ポストコロナの訪日意欲	24
図表 I-33	地方ブロック別延べ旅行者数	25
図表 I-34	地方ブロック別旅行消費額	25
図表 I-35	地方ブロック別延べ宿泊者数(全体及び日本人)	26
図表 I-36	地方ブロック別延べ宿泊者数(外国人)	26

図表 I-37	日本人延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数の地方ブロック別 2019 年比 (2021 年(令和 3 年))	27
図表 I-38	地方ブロック別延べ宿泊者数(日本人・外国人別 2019 年比寄与度) (2021 年(令和 3 年))	27
図表 I-39	地方ブロック別外国人延べ宿泊者の国籍・地域別構成比 (2021 年(令和 3 年))	28
図表 II-1	観光関連産業の売上高の動向(2019 年～2021 年)	45
図表 II-2	宿泊業、飲食サービス業の規模別売上高の動向(2019 年～2021 年)	46
図表 II-3	観光関連産業の営業利益の動向(2019 年～2021 年)	46
図表 II-4	宿泊業、飲食サービス業の営業利益の動向(2019 年～2021 年)	47
図表 II-5	観光関連産業のその他の営業外収益の動向(2019 年～2021 年)	48
図表 II-6	宿泊業、飲食サービス業の規模別その他の営業外収益の動向(2019 年～2021 年)	48
図表 II-7	観光関連産業の経常利益の動向(2019 年～2021 年)	49
図表 II-8	宿泊業、飲食サービス業の規模別経常利益の動向(2019 年～2021 年)	49
図表 II-9	第 3 次産業活動指数の推移(2019 年～2022 年)	50
図表 II-10	宿泊業、旅行業の第 3 次産業活動指数の動向(2019 年～2022 年)	51
図表 II-11	観光関連産業の負債比率の動向(2019 年～2021 年)	52
図表 II-12	宿泊業、飲食サービス業の規模別負債比率の動向(2019 年～2021 年)	52
図表 II-13	宿泊業の年間倒産件数の推移	53
図表 II-14	旅行業の年間倒産件数の推移	53
図表 II-15	企業の雇用人員判断 D.I. の推移	54
図表 II-16	雇用者数の推移(2019 年同期比)	54
図表 II-17	労働投入量の推移(2019 年同月比)	55
図表 II-18	宿泊業の雇用状況	56
図表 II-19	賃金の推移	56
図表 II-20	2021 年における目的地別延べ旅行者数の変化率(2019 年比)	57
図表 II-21	2021 年における日本人・外国人延べ宿泊者数の変化率(2019 年比)	58
図表 II-22	客室稼働率の推移(2019 年同月差)	59
図表 II-23	2021 年における目的地別旅行消費額の変化率(2019 年比)	60
17M 図表 II-1-1	現在の宿泊旅行に対する意欲	61
17M 図表 II-1-2	新型コロナウイルス感染症の拡大収束後の国内旅行優先意向	61
17M 図表 II-1-3	計画している宿泊旅行の訪問先	62
17M 図表 II-1-4	計画している宿泊旅行の訪問先での目的	62
図表 II-24	雇用調整助成金の活用状況(宿泊)	65
図表 II-25	雇用調整助成金の活用状況(旅行)	66
図表 II-26	資金繰り支援の活用状況(宿泊)	67
図表 II-27	資金繰り支援の活用状況(旅行)	68
図表 II-28	月別実旅行者数	69
図表 II-29	2021 年における曜日別国内旅行者数増減率(2019 年比)(47 市区着地)	70
図表 II-30	2021 年における時間帯別国内旅行者数増減率(2019 年比)(47 市区着地)	70
図表 II-31	都道府県別延べ旅行者数(目的地別)	71

図表 II-32	2021 年における目的別国内旅行者数増減率 (2019 年比)	71
図表 II-33	居住エリア別地域ブロック内の域内旅行者割合	72
図表 II-34	旅行における利用交通手段	73
図表 II-35	出張・業務旅行の月別延べ旅行者数	73
図表 II-36	旅行目的別の月別延べ旅行者数増減率 (2019 年同月比)	74
図表 II-37	新型コロナウイルス感染終息後の出張回数の見通し (新型コロナウイルス感染拡大前の水準 = 100%)	74
図表 II-38	国内延べ旅行者数	75
図表 II-39	年齢区分別将来人口推計	76
図表 II-40	都市圏居住者の地方移住への関心	76
図表 II-41	渡航や外出自粛が緩和された場合、どんな旅行にいつ頃行きたい気分か (単数回答)	77
図表 II-42	地域別のテレワークの実施率	77
図表 II-43	ワーケーションの認知と理解	78
図表 II-44	ワーケーションの類型別興味関心	79
図表 II-45	ワーケーションの類型別利用意向 (最も実施したい類型)	79
図表 II-46	ワーケーションを導入していない理由 (複数回答)	80
図表 II-47	日本人の国内旅行延べ人数 (目的別) の推移	83
図表 II-48	日本人の国内旅行延べ人数の推移 (目的地: 東北)	83
図表 II-49	生まれ育った地元以外にもふるさとを持ちたいというニーズ	84
図表 II-50	目的別宿泊旅行の実施率	85
図表 II-51	「宿泊を伴う移動」を増やそうと考えた時、課題だと思うこと	85
図表 II-52	国際観光客数 (2019 年同月比、地域別)	89
図表 II-53	入国規制 (空路) の状況 (世界全体及び地域別)	89
図表 II-54	ホテルの予約状況 (2019 年比、地域別)	90
図表 II-55	2022 年における国際観光客数の回復シナリオ	90
図表 II-56	国際観光客数の回復見通し (地域別)	91
図表 II-57	国際観光客の回復に貢献すると考えられる主な要因	91
図表 II-58	国際観光収入の動向 (2019 年と比較した 2020 年 (年間) 及び 2021 年 (四半期毎) の割合、上位 15 か国)	92
図表 II-59	次に海外旅行したい国・地域 (上位 10 か国・地域)	93
図表 II-60	日本旅行で体験したいこと×新型コロナウイルス感染拡大前からの変化	93
図表 II-61	パンデミックの影響による世界の旅行者の持続可能な観光に対する意識の高まり	94
図表 II-62	旅先での過ごし方	95
図表 II-63	Tripadvisor におけるホテル検索数 (対前年比指数)	95
図表 II-64	地方公共団体が認識している主な課題	96
図表 II-65	地方公共団体の取組状況	96
図表 II-66	観光産業における SDGs の取組状況	97
図表 II-67	環境文化協力金 (仮称) の導入について	99
図表 II-68	環境文化協力金 (仮称) の用途について	99
図表 II-69	AT 旅行者の特徴	106
図表 II-70	高付加価値旅行者数及び旅行消費額	108

図表Ⅱ-71	宿泊施設数の推移	109
図表Ⅱ-72	延べ宿泊者数及び客室稼働率の推移	110
図表Ⅱ-73	旅館・ホテル経営者の年齢別施設数の構成割合	111
図表Ⅱ-74	接客・給仕の職業の有効求人倍率の推移	112
図表Ⅱ-75	離職率の推移	112
図表Ⅱ-76	賃金（年間賃金総支給額）の推移	113
図表Ⅱ-77	宿泊業の男女別賃金（年間賃金総支給額）の推移	113
図表Ⅱ-78	総労働時間（一般労働者）の推移（月間）	114
図表Ⅱ-79	売上高経常利益率の推移	115
図表Ⅱ-80	宿泊業の経常利益内訳の推移	115
図表Ⅱ-81	「今後のホテル運営における不安や懸念」に関するアンケート調査結果	116
図表Ⅱ-82	労働生産性の推移	117
図表Ⅱ-83	宿泊業の付加価値額、従業員数の推移	117
図表Ⅱ-84	旅行業者数の推移	117
図表Ⅱ-85	旅行消費額におけるパック・団体旅行に対する個人旅行の比率 （個人旅行／パック・団体旅行）の推移	118
図表Ⅱ-86	旅行形態別旅行消費額の変化率（前年比）の推移	119
図表Ⅱ-87	主要旅行業者の旅行取扱額の推移	119
図表Ⅱ-88	旅行取扱単価の推移	119
図表Ⅱ-89	DXの取組状況（業種別）	125
図表Ⅱ-90	IT・デジタル化されている業務の割合（事業者の規模（従業員数）別）	126
図表Ⅱ-91	DXに向けて必要な取組の実施状況	126
図表Ⅱ-92	DXを進める際の課題	127
図表Ⅱ-93	IT・デジタル化の対応が不足している理由	127
図表Ⅱ-6-1	顔認証デジタルパス利用者の訪問施設数	133

（参考）本白書における地方ブロックの区分は基本的に以下のとおり。

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北陸信越	新潟県、富山県、石川県、長野県
中部	福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県